

■原三溪(富太郎) 実業家。本業のかたわら、〔三溪園〕に美術品や古建築を収集、市民に公開し、多くの芸術家を支援。

はらさんけい

明治維新・・・1868＝ 岐阜県厚見郡佐波村で、養蚕・養豚営む戸長(後村長)青木久衛の長男に生まれる。

学問のすすめ1872＝ 4歳：近くの寺子屋へ通う。
明治6年政変 1873＝ 5歳：この年、尚文小学校が設立されたが、

三つの反乱・1876＝ 8歳：遅れて入学。
西南戦争・・・1877＝ 9歳：成績優秀で校長から可愛がられ、

・・・1880＝12歳：卒業すると、大垣の儒者野村藤陰の鶏鳴塾に通い、
明治14年政変1881＝13歳：漢籍を学び、感化を受ける。
岩倉具視没・1883＝15歳：知人を頼って京都に出、儒者草場船山に入門して、経学・詩文を学び、漢籍に磨きをかける。

政治・学問の中心が既に東京に移っていることを知ると、船山に跡見花蹊への紹介状を貰い、
帝国大学始・1886＝18歳：
国民之友始・1887＝19歳：両親に無断で上京。跡見女学校の助教師となるとともに、東京専門学校に通って政治・経済を学ぶ。
帰郷求めて上京した父と激論の末、勉学を認められる。

帝国憲法発布1889＝21歳：

足尾鉋毒始・1891＝23歳：跡見女学校の教え子で生糸問屋屋原善三郎の孫娘屋寿(やす)と相思相愛となり、
大本教・・・1892＝24歳：花蹊が岐阜まで赴いて父を説得してくれ、中島俊子の奔走も得て、結婚し、原家に入籍。長男誕生。養祖父善三郎の指導のもと、家業を見習い、その発展に努める。
日清戦争始・1894＝26歳：長女誕生。
日清戦争終・1895＝27歳：
白馬会・・・1896＝28歳：長男が善三郎の養嗣子となったため、分家となる。次男誕生。東京専門学校校友に推挙される。

Bushidou・・・1899＝31歳：*養祖父善三郎が死去、原家の家業を継ぎ、三溪と号する。この頃より岡倉天心らと交際が始まる。
ピア/国産化・1900＝32歳：原商店を原合名会社に改組、輸出業始め、モスクワ、リヨン、ニューヨークに代理店を置く。次女誕生。
田中正造直訴1901＝33歳：生糸輸出に着手。第二銀行頭取に就任。
教科書疑獄・1902＝34歳：三井家から製糸四工場を譲り受け経営。*本牧三之谷三溪園内に原家本宅を建て移住。旧天瑞寺寺塔覆堂を大徳寺黄梅院より移築。以後、次々と古建築を買収・移築、
日比谷公園・1903＝35歳：孔雀明王図を高橋箒庵の紹介で井上馨公から買い入れ、古書画の収集に熱中して行く。

日露戦争始・1904＝36歳：桜花御会に召される。港湾改良期成会を結成。
日露戦争終・1905＝37歳：横浜本牧の自宅、三溪園を市民のために公開する。
満鉄発足・・・1906＝38歳：東慶寺仏殿を鎌倉から移築。神奈川県小向(川崎市)の梅林購入。鉄道王でワシントンのフリーア美術館創始者が来園。
韓国反日暴動1907＝39歳：高橋是清に推薦され、内閣の生産調査会の最年少委員となる。

韓国併合・・・1910＝42歳：岡倉天心を通じて、今村紫紅、小林古径、安田靫彦、前田青邨らの援助を始める。
大逆事件判決1911＝43歳：実父青木久衛が死去。
明治天皇没・1912＝44歳：
大正政変・・・1913＝45歳：
第一次大戦始1914＝46歳：燈明寺三重燈移築。
21ヶ条要求・1915＝47歳：長男の学友芥川龍之介、この頃より再々三溪園を訪れ、俳句を作り、収集の美術品を鑑賞。下村観山、三溪園の梅の木をモデルに「弱法師(よわぼし)」を描く。夏目漱石が和辻哲郎の案内で文人画を鑑賞に来園。短期的に帝国蚕糸会社を設立・解散することで蚕糸業界を救済し、

民本主義・・・1916＝48歳：勲三等瑞宝章。インドの詩聖タゴールが三溪園に3ヶ月逗留。大隈内閣の経済調査会委員。
ロシア革命・1917＝49歳：臨春閣の移築なる。(明治39年購入の)蓮華院建造。茶会を催す。
本格政党内閣1918＝50歳：朝鮮農林株式会社を設立し、スマトラ島ゴム園経営にも着手。月華殿移築。春草丘移築。金毛窟建造。
大暴落・・・1920＝52歳：恐慌で破綻した七四銀行救済すべく横浜興信銀行頭取に就任し奔走。第二次蚕糸救済にも成功。
原敬首相暗殺1921＝53歳：益田孝から箱根強羅の別荘白雲洞を譲られる。紺綬褒章。
水平社結成・1922＝54歳：聴秋閣移築。
関東大震災・1923＝55歳：*三溪園で大師会茶会開催。白雲洞で関東大震災に遭遇、横浜市復興会長就任。身を挺して復興にあたる。
治安維持法・1925＝57歳：真崎大和鉛筆(三菱鉛筆)設立。

共産党事件・1928＝60歳：第二銀行を横浜興信銀行に吸収。

海軍軍縮条約1930＝62歳：「三溪画集」第一輯を自費出版。
満州事変・・・1931＝63歳：

二二六事件・1936＝68歳：名古屋製糸所の操業停止。右腕に疼痛を感じ絵が描けなくなる。
日中戦争始・1937＝69歳：長男善一郎が急死。渡瀬工場を閉鎖。「三溪画集」第二・三輯を自費出版。

第二次大戦始1939＝71歳：没した。